

MAGNIA 3310

クラスを超えたパワーと信頼性を持つエントリーサーバが
企業の基幹業務を支援し、ビジネスパワーを加速します。

高性能Intel® Xeon™ プロセッサを最大2個搭載。
エンタープライズ領域に迫る、クラスを超えたスペックを備え、
ワークグループサーバが求める高可用性を実現しました。



Intel® Xeon™ プロセッサを最大2個搭載

高性能CPU Intel® Xeon™ プロセッサ2.6GHz/2.40GHz/3.06GHzを最大2個搭載可能。

高速・高信頼RAIDコントローラを採用

東芝独自のRAID高速化技術を搭載し、高速かつ高信頼を実現したRAIDコントローラもサポート。

PC2100対応 DDRメモリスistem (最大12GBまで対応/Chipkill対応)

高いスケーラビリティと高速アクセスにより、アプリケーションサーバとしても対応可能なスレッド能力を提供。

ホットプラグに対応したHDDを最大8台搭載可能(*)

Ultra320対応HDDを最大8台まで搭載でき、6台+1~2台の「RAID1+0構成」にも対応できます。

(*) オプションの拡張ディスクシャーシが必要

高性能CPU Intel® Xeon™プロセッサ3.06GHzを採用
ハイパー・スレディングテクノロジー、Intel® NetBurst™マイクロアーキテクチャなどの革新的な技術により、マルチスレッド処理をはじめとする、優れた処理能力を発揮するIntel® Xeon™プロセッサ2BGHz/2.40BGHz/3.06GHzを採用しました。



高速・高性能なチップセットを採用

高速データ転送 (FSB533MHz) を実現するIntel® E7501チップセットと、PC2100対応DDR SDRAMを採用し、最大12GBのゆとりあるメモリ空間を実現。さらに、複数ビットのエラーが修復するChipkill*機能に対応し、メモリチップ故障に対する可用性を高めました。

*1GB以上のメモリユニットで対応

高性能・高信頼性のRAIDコントローラに対応

ディスクの状態を常時監視するパトロール処理などArrayFortシリーズで培った高信頼RAID装置のノウハウと、東芝独自のRAID高速化機能のRAID Boosterを搭載したRAIDコントローラなども搭載でき、高速かつ高信頼のディスクアレイシステムを提供します。

最大1168GB (146GB×6台+146GB×2台*) のHDDを内蔵可能

本体内に最大1168GBのディスクを内蔵可能。Ultra320対応の15,000rpmHDD(36GB/73GB)も内蔵できます。

*オプションの拡張ディスクシャーシが必要

次世代高速I/OバスPCI-Xを採用

PCI-Xテクノロジーを採用し、64bit/100MHzで動作する4スロットを装備。800MB/sのデータ転送速度(ピーク値)を実現し、高速なI/O処理が可能です(PCI-X対応カード使用時)。



ギガビット・イーサネットコントローラを標準装備

1000BASE-T対応のギガビット・イーサネットコントローラを標準で装備し、同じく標準搭載の100BASE-TX/10BASE-Tポートと合わせた2ポート構成で二重化を実現します。また、クライアントからサーバの電源ONを可能にする、WOL(Wake On LAN)にも対応しています。

電源、および冷却ファンの冗長構成に対応

電源装置の冗長化により、万一障害が発生した場合でも継続運用が可能です。また、熱による障害からシステムを守る冷却ファンの冗長化も可能。電源まわりの信頼性を高めています。



サーバ監視・管理機能

サーバ内部の温度、冷却ファン、電源ユニットなどのコンポーネントの状態を一元監視・管理する専用コントローラを標準搭載。コンポーネントの動作状況をログに記録することにより、故障解析・回復の迅速化を図ることができます。運用状況を見守るサーバ監視ソフト「HarnessEye/web」を標準添付*。ハードウェア構成情報の表示や障害監視ができます。また、システム管理者への障害通知や「S.M.A.R.T」によるHDDの障害予告も可能です。その他、OSがダウンしている場合でも警告通知を可能にするなど多彩な機能を搭載し、サーバ監視・管理機能を強化しました。

*Windows版のみ

サーバ設定支援ソフト「SetupInstructor」

ハードウェアの設定からネットワークOS(Windows® 2000 Server/Windows Server™ 2003)のインストールまで、対話形式によるイメージセットアップを可能にするサーバ設定支援ソフトを標準添付*。同一設定の環境を簡単に作成できるので、複数サーバへの設定も容易に行えます。*Windows版のみ

■MAGNIA 3310仕様

機種名		MAGNIA 3310
CPU	メインプロセッサ プロセッサ数(最大)	Intel® Xeon™ プロセッサ 2BGHz/2.40BGHz/3.06GHz (FSB 533MHz) 2
セカンドキャッシュ		512MB/ CPU (L2キャッシュ) / 1MB/ CPU (L3キャッシュ) (*1)
チップセット		Intel® E7501
メインメモリ	メモリアイ数(最大) (ECC付き) 増設単位	12GB (DDR266, ECC SDRAM, DIMM Chipkill対応(*2)) 256MB/512MB/1GB/2GB/4GB
補助記憶装置	HDD (本体内部) 内蔵HDD (インタフェース) ディスクベイ	1168GB (146GB×6台+146GB×2台(*3)) 36GB/73GB (Ultra320 SCSI, 15,000rpm) S.M.A.R.T.対応, 36GB/76GB/146GB (Ultra320 SCSI, 10,000rpm) S.M.A.R.T.対応 3.5型×6 [標準] +3.5型×2 [拡張ディスクシャーシ] (ホットプラグタイプ対応)
RAID対応	FDD	3.5型 (720KB/1.44MB) ×1 SCSI-RAID 0, 1, 5, 10, 50 (オプション)
SCSI制御機構 (オンボード)		Ultra320 SCSI×2
電源装置 (最大)		2台 (冗長構成/ホットプラグ対応)
CD-ROM装置		4倍速×1
キーボード		(日本語109型) ×1 (ラックモデルはオプション)
マウス		(PS/2) ×1 (ラックモデルはオプション)
LANインタフェース		100BASE-TX/10BASE-T Ethernet (オンボード標準搭載) ×1 (WOL, AFT, ALB LAN Alerting対応(*4))、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T Ethernet (オンボード標準搭載) ×1 (WOL, AFT, ALB対応(*4))
表示機能	ビデオRAM	8MB
I/Oポート	シリアルポート パラレルポート マウスポート キーボードポート USBポート (USB1.1) RGBインタフェース	2チャンネル (RS-232C D-sub 9ピン) 1チャンネル (D-sub 25ピン) 1チャンネル (PS/2互換) 1チャンネル (PS/2互換) 2チャンネル (*5) 1チャンネル
デバイスベイ	I/Oスロット	5.25型×3 (CD-ROMが1スロット占有) (*6) 4 — 2
冗長ファン	東芝ユーティリティ(*7) プレインストール(*8)	オプション サーバ設定支援ソフト SetupInstructor、サーバ監視ソフト HarnessEye/web Microsoft® Windows® 2000 Server (5CAL)、 Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition (5CAL)
電源	消費電力 (最大) 本体エネルギー消費効率 [J区分] (*9) 磁気ディスクエネルギー消費効率 [J区分] (*10) 環境条件 本体寸法 (mm) 本体質量 (最大) 対応OS	AC100V 50/60Hz 650W 0.0240/MTOPS (2BGHz)、0.0219W/MTOPS (2.40BGHz)、0.0173W/MTOPS (3.06GHz) 0.24W/GB[E] (36GB、15,000rpm)、0.16W/GB[F] (73GB、15,000rpm)、 0.19W/GB[B] (36GB、10,000rpm)、0.11W/GB[B] (73GB、10,000rpm)、0.07W/GB[C] (146GB、10,000rpm) 温度:10℃~35℃ (ラックタイプ) 温度10℃~32℃、湿度30%~80% 幅:213、奥行き:655、高さ:465 (ラックタイプ) 幅:445、奥行き:635、高さ:211 40kg (ラックタイプ44kg) Microsoft® Windows® 2000 Server、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、 Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition、 TurboLinux Server (*11)、MIRACLE LINUX (*11)

詳細の仕様、構成および制限事項などは「ハードウェア構成ガイド」をご確認ください。

- HDDの容量は、1GBを10億バイトで算出しています。
- (*1) L3キャッシュは、3.06GHzのCPU (CPR3874A/UPG3874A) のみに搭載しています。
- (*2) 1GB以上のメモリユニットで対応しています。(*3) 拡張ディスクシャーシ (オプション) が必要です。
- (*4) WOL (Wake On LAN) :LAN経由でサーバの電源をONにする機能、AFT (Adapter Fault Tolerance) :LANの二重化、ALB (Adaptive Load Balancing) :複数のLANを使用して送信帯域幅を向上させる機能。
- (*5) USBポートは、USB対応周辺機器全ての動作を保証するものではありません。(*6) 拡張ディスクシャーシを使用する場合、5.25型デバイスベイを2スロット占有します。
- (*7) Windows版のみ対応です。(*8) OSがプレインストールされないモデルもあります。また、プレインストールは「モデルにつきOS」となります。
- (*9) 本体エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。
- (*10) 磁気ディスクエネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める記憶容量で除したものです。
- (*11) Linux使用時の動作範囲については、商品情報ホームページをご確認ください。詳細については、担当営業までお問い合わせください。

● Chipkillは、米国IBM社の商標です。● Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。● Intel, Xeon, Intel NetBurstは、米国Intel Corporationの登録商標または商標です。● Linuxは、Linus Torvalds氏の商標です。● MAGNIAは、株式会社東芝の商標です。● Microsoft, Windows, Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。● MIRACLE LINUXの名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社から使用権許を受けている登録商標です。● TurboLinuxの名称およびロゴは、米国TurboLinux, Inc.の登録商標です。● TurboLinuxおよびターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。● Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。● 本カタログに掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。● 誤動作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および本商品の使用不能により生じたお客様の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータ等は、必ずお客様の責任の下、普段からこまめにバックアップされるようお願いいたします。

商品情報ホームページ
<http://www.magnia.toshiba.co.jp/>

安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

TOSHIBA

株式会社 **東芝** PC & ネットワーク社

サーバ・ネットワーク事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
TEL : (03) 3457-3019
Email : pcserver@ieg.toshiba.co.jp